東洋医学公益講座

第67回

- ✓ 講師：羅　予澤
- ✓ 提供：未病予防協会
- ✓ 協賛：㈱ベンチャーバンク

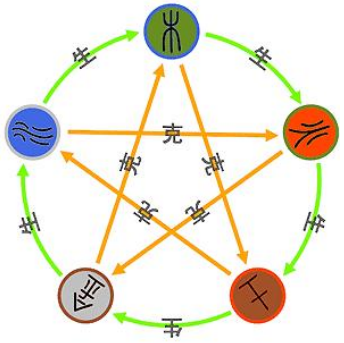
画像写真　百度図片

先人の智慧、後世の階段

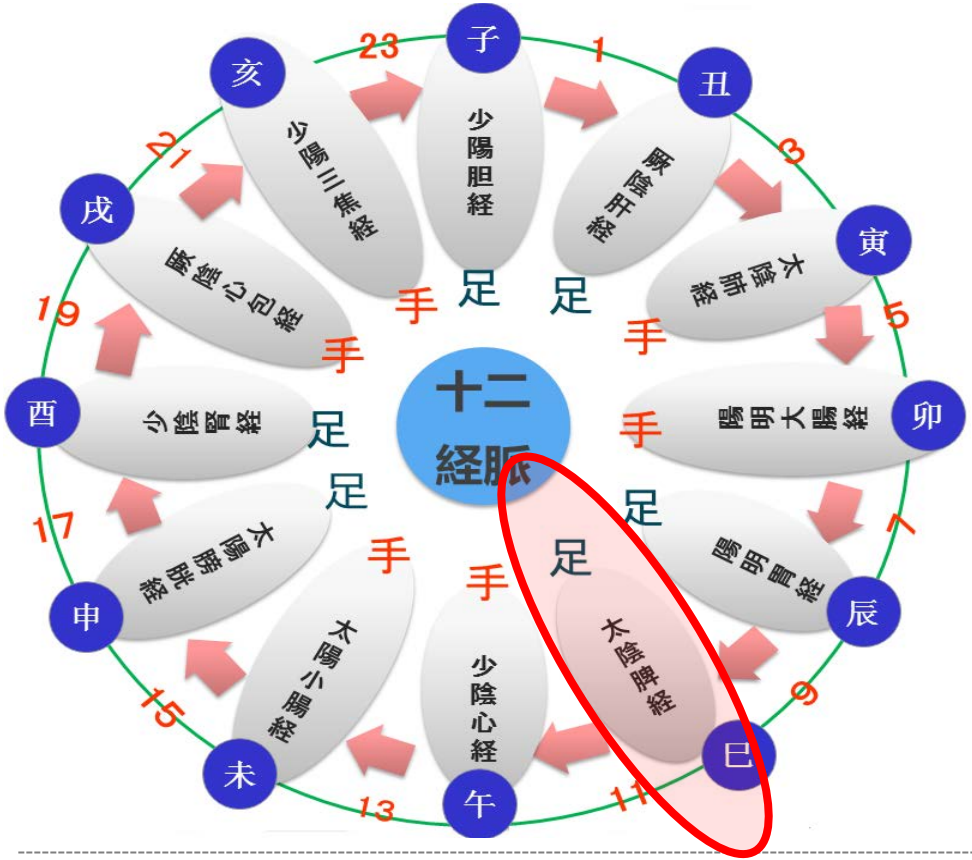
十二正経　脾経_機能＆流注

太陰湿土脾の意味

三陰三陽　太陰（四の気＝大暑から白露）
六気　湿（高温多湿・多雨の季節）
五行　土



十二経脈の時間性 ── 脾の時間



9～11時
脾経に営気が
集中し、消化
活動に備える

画像写真　百度図片

朝食抜きとむくみ

午前中7時～11時、消化器が空回りすると

水分代謝が悪くなり、液体の水が溜まる

むくみやすい体質になる！

痰湿体質とは

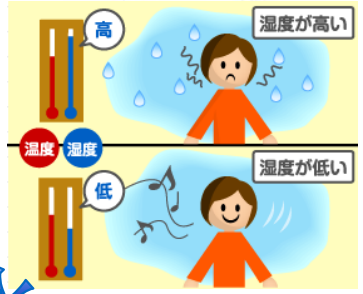
水蒸気 ＝ 体内に利用されやすい

湿 ＝ 霧のような水滴の集まり

水 ＝ 液体の水

飲 ＝ 不純物が含まれる水

痰 ＝ 老廃物が多く含まれる水



湿～痰のような液体がたくさんある体

中性脂肪は痰の塊

水の中に老廃物が多くなると、
酸性になり、「水毒」になる

細胞にとって酸性の水が害！

細胞を守るため、脂肪で酸性の水を
包み、脂肪細胞をつくる

脾の働きと痰湿体質

脾の働きが低下すると、
水を加熱して、水蒸気にする力が弱まる

液体の水が増え、痰湿が増える

体がむくみ、重くなり、疲れやすい

脾は消化の「化」を担う主役

消＝形を消す　　化＝変化させる

消 ⇒ 口で咀嚼 → 食道 → 胃袋

化 ⇒ 十二指腸 → 小腸 → 大腸

アミノ酸に分解、タンパク質に合成

糖質・脂質を全身の細胞に運搬

肉はエネルギー源の貯蔵庫

脾主肉

糖質・脂質・タンパク質がエネルギー源として筋肉(骨格筋や内臓平滑筋など)に蓄積される

脾の働きが悪くなると、
脂肪が増える・筋肉が細くなる

手足と脾の関係

脾主四肢

脾が筋肉を司るため

脾の働きが悪くなると、
骨格筋が弱くなり、手足が弱く

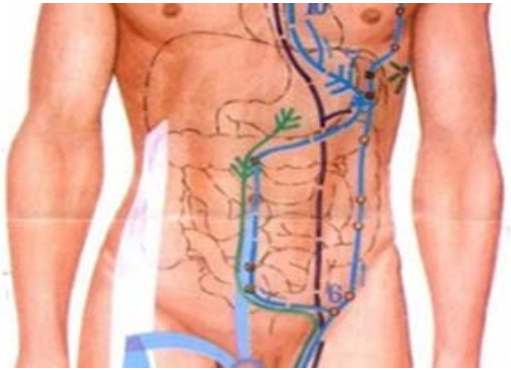
不正出血の原因は脾にある！

脾主統血

栄養素を全身に運ぶ主役は血液よって、
脾は血液を統括し、時間空間的に制御する

制御不能になると
空間的：不正出血（血管の外にしみ出る）
時間的：生理不順

脾と下腹部の不調

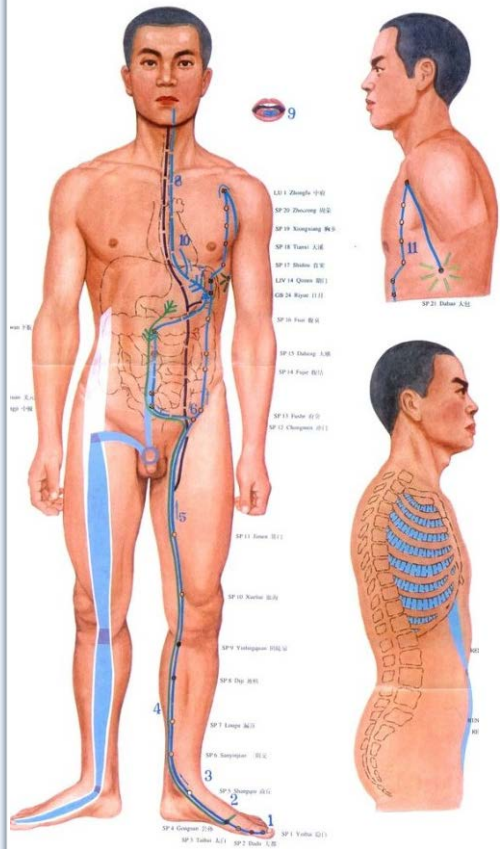


脾主下腹

大腸・小腸の内臓平滑筋は脾のシステムの属する

脾の機能が低下すると、下腹部のトラブルが多発する

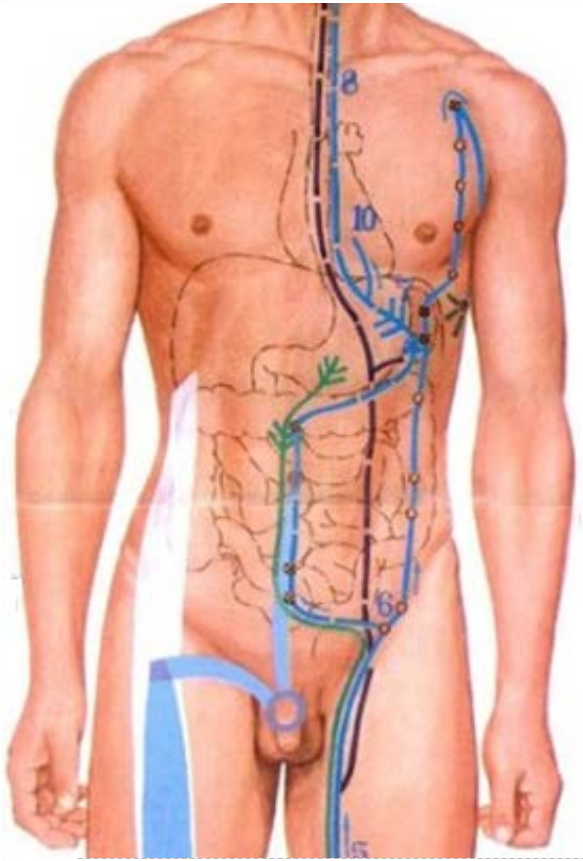
足太陰脾経の流注　経脈



体の前面の内側を通る

足の拇趾内側から始まり →
内踝の前 → 脛の前内側 →
太股の前内側 → 鼠蹊部 →
下腹部で腎と連絡 → 横隔膜
→ 咽喉部 → 舌　※ 水色の線を参照

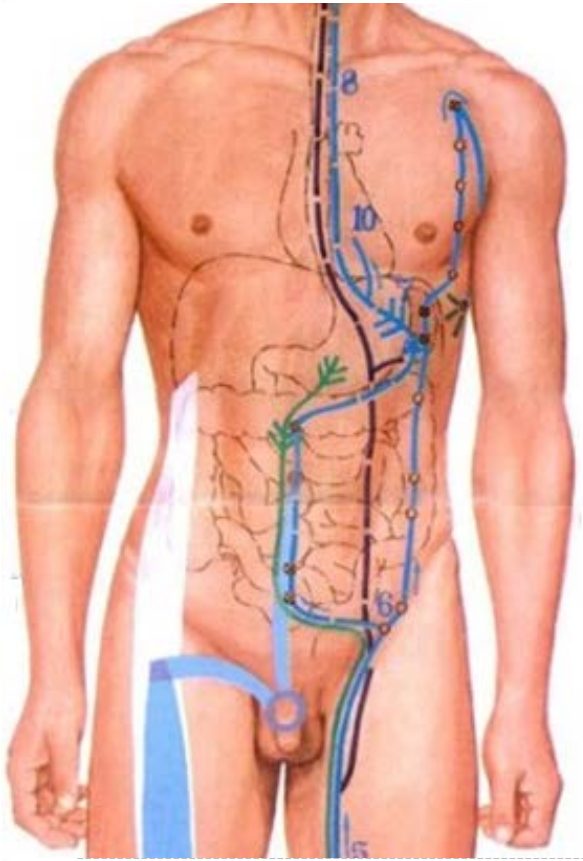
足太陰脾経の流注　経脈　続き



胸腹で胃と心と連絡

腹部で胃と連絡→
横隔膜→
心に入る

足太陰脾経の流注　経別

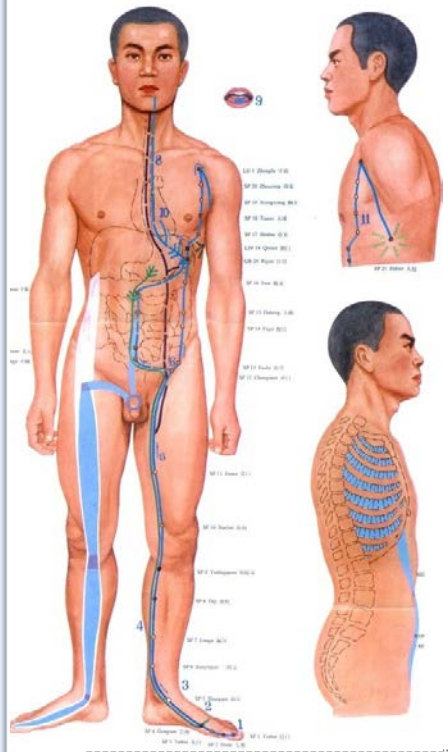


胃経と合流する

太股 →
鼠蹊部で胃経と合流 →
咽喉部 →本経と合流
舌 → 本経と合流

※ 紺色の線を参照

脾経の流注に関わる諸症状



- ✓ 下肢の前内側の不調
- ✓ 鼠蹊部の中央の痛み
- ✓ 下腹部の不調
- ✓ 喉や舌の不調
- ✓ 腎、胃、心の不調